

## 消費者モニター 活動報告

### 第48回 消費者モニター会議

2011年2月25日、「食のサポーター」による消費者モニター会議を開催しました。

今回は、第8期の最終回にあたるため皆さんと「うまかぶり」を使ったお弁当で昼食をとりながら歓談を行い、最後にこの1年間を振り返っていただきました。工場見学や家計のやりくりについての意見交換、「食の安全・安心」についての学習会、フィッシュソーセージの食べ比べ、高齢者向けソフト食の試食、そしてレシピ開発といろいろなことにチャレンジしていただきました。また、霧島黒豚をはじめ取扱商品の試食も行いました。6回の中に盛り沢山のメニューで皆さまにとっては大変な1年間だったことと思います。

1年間貴重なご意見やアイデアありがとうございました。

#### 会議風景

熊山専務の挨拶

「皆さま方よりいただきました  
数々の貴重なご意見にとても感動しました。  
1年間ありがとうございました。」



記念に「いい笑顔」

#### サポーターの方々のコメント

- ・ とても良い制度だと思う。消費者にとっても林兼産業にとってもお互いの意見を取り入れることができるし、モニターになったことで商品を知る事ができ範囲が広がると思う。これからも是非続けて欲しい。
- ・ 企業の中から見るということは、本当に百聞は一見で、とても良い経験になった。
- ・ 回を重ねるごとに食に関する初めての発見や林兼産業の前向きな企業としての取り組みを知ることができた。沢山の情報があふれている現代生活で、食

に関して自分が必要とする情報が何であり、また何を必要としなければいけないのか考え直す機会にもなった。

- 基本的にはどういう企業であれ、人を育てるということは同じと思う。社員教育は普通だが、従業員ではない一般の人たちに教育をするということだろうか。
- モニターに選ばれたお蔭で、家庭、職場以外の場で大変充実した時間を持つことができた。
- 消費者モニターの皆さんは、主婦のプロの方々だと思うが、皆さんから漂う食の安全に関するこだわりは勉強になった。
- モニターに選ばれ最初は不安で一杯だったが、皆さん主婦ということで年代別にいろいろな話が聞け、とても楽しい1年だった。毎回いろいろなことを吸収でき、あっという間に1年が過ぎたという感じだ。
- 会議では、林兼産業に関わる専門的な知識だけでなく、主婦として、そして、下関市民として、欠かせない情報をたくさん得ることもできた。
- 一つの食品を作るということは、思ったより本当に大変なことだと思いつくづく思った。味や消費者のニーズだけでなく、法律、安全、衛生等々大変な努力から成り立っていると思うと、消費者の方もきちんとした知識をもっていないといけないと思った。
- 食に関わる仕事をしていくことはとても重大で、かつやりがいのある仕事だと思う。
- レシピ提案のときには、世代でこんなに発想が違うのだととても新鮮だった。年配の方の知恵もさることながら、若い方の発想や知恵もすごいと感心した。
- モニターとしての意見がどこまで林兼産業に役に立てたかは判らないが、私にとって以前よりグーンと身近になったことは間違いない。商品はどれも美味しいのでこれからもファンであり続けると思う。
- 「消費者モニター」という初めての経験を無事終えることができ「ホッ」としている。